

県では、「ふるさと石川の環境を守り育てる条例」を定め、特に保護の必要性が高い野生動植物を「石川県指定希少野生動植物種」として、これまでに20種を指定しています。指定された種については、捕獲や採取などは原則として禁止されています。



**コアジサシ(カモメ科)**  
4月中旬に日本に飛来する夏鳥。繁殖地は、県内で数か所に限られる。



**トミヨ(トゲウオ科)**  
手取川扇状地と志賀町の、湧き水が流れ込む河川にのみ生息。



**ホトケドジョウ(ドジョウ科)**  
流れの緩やかな小川やため池、湿地などに生息。開発などの影響で生息地が減少。



**イソコモリグモ(コモリグモ科)**  
砂浜の海浜植物帯が主な生息地。砂浜海岸の減少や環境悪化により、減少。



**イカリモンハンミョウ(ハンミョウ科)**  
羽咋市から志賀町までのまでの砂浜海岸にのみ生息。



**ホクリクサンショウウオ(サンショウウオ科)**  
里山の荒廃等により、個体群の縮小が危惧される。



**シャープゲンゴロウモドキ(ゲンゴロウ科)**  
金沢以北の水質の良い池沼や休耕田に生息。採集圧や外来種の侵入により減少。



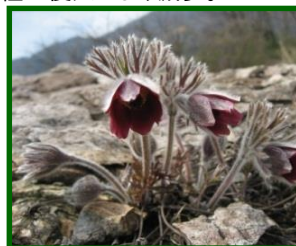
**マルコガタノゲンゴロウ(ゲンゴロウ科)**  
能登半島の植生の豊かなため池などに生息。採集圧や外来種の侵入により減少。



**チュウヒ(タカ科)**  
河北潟などのヨシ原に営巣し、ネズミ類等を餌とする。県内の成熟個体数は数十羽。



**ウミドリ(サクラソウ科)**  
能登地方外浦の岩石海岸の塩性湿地にわずかに生育。



**オキナグサ(キンポウゲ科)**  
加賀地域の河岸の極めて限られた場所に生育。



**ヒメヒゴタイ(キク科)**  
能登半島の一部海岸部に生育。生育環境の改変・悪化が危惧される。



**サドククルマユリ(ユリ科)**  
能登半島に分布。現在確認されている生育数は、極めて限られている。



**トキソウ(ラン科)**  
日当たりのよい湿地に生育。湿地環境の消失や採集圧により減少。



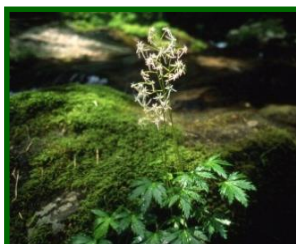
**サギソウ(ラン科)**  
丘陵地の湿地等に生育。湿地環境の消失や採集圧により減少。



**イソスミレ(スミレ科)**  
海岸砂丘等に生育。県内の生育地は3か所。



**センダイハギ(マメ科)**  
能登半島の一部海岸部の極めて限られた場所に生育。生育環境の改変・悪化が危惧される。



**エチゼンダイモンジソウ(ユキノシタ科)**  
加賀地域山間地の谷あいの湿った岩場などに生育。



**トウカイコムウセンゴケ(モウセンゴケ科)**  
生育地は加賀地域に限られ、生育地の改変や採集圧が危惧される。



**イシモチソウ(モウセンゴケ科)**  
現存数は極めて限られ、採集圧も危惧される。